

令和 4 年度 城山中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

（１） 基本目標

「人間尊重の教育」を基盤として、心身ともに健康で、自主的・自律的に行動し、豊かな創造力と正しい判断力を身に付け、社会の変化に主体的に対応し、国際人として世界に貢献できる人間の育成を目指す。

（２） 具体目標

- 1 心身共に健康で勤労を尊ぶ生徒
- 2 基盤となる学力を身につけ、自ら学ぶ意欲をもつ生徒
- 3 礼儀正しく、責任を重んじ、心情豊かな生徒
- 4 主体的で創造性に富み、個性豊かな生徒
- 5 文化や伝統を尊重し、国際社会に貢献できる生徒

（３） 生徒の信条

「強く、賢く、美しく」

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

地域と密着した教育活動を展開しながら、互いに学び合い高め合う集団を形成し、すべての生徒が自己有用感を味わえる学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- （１） 現行学習指導要領に基づき、学力の定着と向上を図るとともに、基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成、目標に向かって粘り強く取り組むことが求められる活動等を通して、豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する。〈生徒〉
- （２） 互いに高め合い、学び合う協働的な同僚性の育成と、研修への積極的参加による指導力と専門性の向上、並びに働き方改革の推進により職員の負担軽減と業務の効率化を図る。〈教職員〉
- （３） ○小中間の連携強化を図り義務教育の連続性の確保と、地域人材・地域教材を有効に活用し、地域貢献活動・地域交流活動等の教育活動を推進する。〈小中一貫教育・地域学校園〉

【 城山地域学校園教育ビジョン 】 ～ともに学び合う城山っ子を育む地域学校園～

みんなで育てよう！ 自分を愛し、仲間を愛し、地球を愛する城山の子

4 教育課程編成の方針

関係法令、県教育振興基本計画 2025、市学校教育スタンダードや指導の重点に基づき、生徒が持続可能な社会の創り手となることができるように、学校教育を通して育むべき資質・能力を明確にし、それらを生徒が確実に身に付けることができるよう教科等の関連を図り、バランスの取れた教育課程の編成に努める。その際、地域の教育資源や外部指導者の活用及び魅力ある学校づくり地域協議会や保護者等と連携した、地域に根ざした豊かな体験活動の実施を図る。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- 【 学 校 運 営 】 ○一人一人のよさを認め励まし、称賛して更に伸ばす指導の充実 ○地域の教育力を生かす教育活動の推進・目標に向かって粘り強く取り組む力を育む教育活動の工夫（SDGs への取組活用）・業務の効率化等による働き方改革の推進
- 【 学 習 指 導 】 ・「主体的・対話的で深い学び」の実現・学習目標の明確化と振り返りによる充実・読解力向上に向けた読書活動の充実・学習習慣の定着を目指す指導 ○SDGs、主権者教育との関連を図った「宇都宮学」の推進
- 【 児 童 生 徒 指 導 】 ・自己有用感を味わえる教育活動の推進 ○認め合い助け合う集団づくりによるいじめ等問題行動の未然防止・規範意識の醸成・生徒会、部活動等による自主・自律の精神の育成
- 【健康（体力・保健・食・安全）】 ・健康（感染症対策）と食の安全確保 ○家庭・地域・行政と連携協力して実施する交通安全・防災・保健等の指導・学校栄養士を核とした望ましい食習慣の育成・体力向上を目指す工夫を凝らした教育活動

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す生徒の姿	A 1 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上	① 学力調査等の結果を分析し、生徒の学習における課題を明確にした上で、自分の意見の根拠をきちんと述べて発表するなど、中身を深めた質の高い話し合い活動の機会を増やす。 ② ふれあい文化教室や大谷石加工体験学習などの外部講師による授業や、自分の考えを書いたり話し合ったりする活動を効果的に取り入れた授業などにより、生徒の思考力・判断力・表現力等を高める。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上	① 冒険活動教室や職場体験学習等の、人・自然・社会との関わりを通じた体験活動の充実を図り、豊かな心を育成する。 ② 道徳、学級活動の時間を中心に、お互いの良いところを見つけ、認め合う活動を意図的に取り入れるなど、「ありがとう」という感謝の言葉が自然に出るような支持的な雰囲気を醸成する。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 3 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上	① 定期的に、服装・身だしなみチェックを行い、生徒自身で自分の生活を振り返らせるとともに、学年集会等で全体に対して指導する方法を工夫し、自己管理能力の育成を図る。 ② 職員間で共通理解を図り、全生徒を全職員で指導する体制を確立する。また、日ごろから全教職員による目配りを行い、きまりやマナーを適時適切に指導する。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 4 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 95%以上 地域住民の肯定的回答 90%以上	① 地域学校園内の小学校や地域協議会と連携をした「あいさつ運動」を、さらなる活性化を目指し工夫する。 ② 引き続き地域協議会と連携を図りながら、「あいさつ運動」を生徒会活動に位置付けて計画的に行いながら、良い事例を称賛し、学校内での教育活動だけでなく、校外活動においても気持ちの良いあいさつができるよう、一人一人の意識の高揚を図る。		【達成状況】 【次年度の方針】

A 5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上	① 学校行事や部活動などでの困難を乗り越える体験を通して、「褒めて伸ばす」「一人一人の個性を生かす」指導を継続するとともに、「苦手」や「不安」等がある生徒には能力に応じた目標を設定させたり、自分に自信のある生徒には、役割を与えるだけでなく自ら役割を見つけさせたりすることで、達成感や自己有用感を味わわせ、目標に向かってあきらめずに粘り強く取り組む態度を育む。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上	① 保健体育の授業において、補強運動を積極的に取り入れ体力の向上を図る。 ② 運動に対する意欲の向上と運動習慣の定着のため、元気っ子チャレンジへの参加を継続する。 ③ 交通安全教室、避難訓練等を通して、正しい意思決定や適切な行動選択ができるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 7 生徒は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 A 5と同じ	① 学級活動(3)イ「社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成」や、道徳C(12)「社会参画・公共の精神」の学習等を工夫し、自分の夢や進路等について考えさせたり、学級内で各々に役割を与え、その活動を褒めたりするなど、社会貢献への意欲を高めると同時に、自己有用感を高める。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上	① 英語の授業でA L Tを効果的に活用するとともに、給食の時間や昼休みなどにも生徒とA L Tがコミュニケーションを図る機会を増やししながら、積極的に話している場面を見た教員が認め励ますなどして、英語力を向上させる。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	① ふるさと学習で学年ごとのテーマを設定し、環境や地域文化財、産業、福祉等について学習を行い、郷土の良さを知るとともに、愛情と誇りをもたせるようにする。 ② 朝の会や教科等の授業の中で関連する内容を学ぶ際に、宇都宮や地域の行事・活動だけでなく、宇都宮学を活用し、大谷石文化を積極的に紹介したりする。 ③ 保護者の啓発を行うため、各種たよりや保護者会等での情報発信に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 10 生徒は、I C T機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	① タブレット型パソコンを授業に取り入れる方法を研究し、教室でのグループの話し合い活動などに積極的に活用する。 ② 図書室の利用を教科等の年間指導計画に位置づけ、計画的に図書等を学習に活用する機会を設ける。	【達成状況】 【次年度の方針】

目 指 す 学 校 の 姿	A11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 A2と同じ	① 城山あったか活動だけでなく、道徳等の学習や外部講師による認知症サポーター養成講座を実施することなどをおして、高齢者への理解を深め感謝やいたわり敬う心を育む。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 75%以上	①「持続可能な社会」の実現に向けて、教科や領域の学習において、学年目標に向けた具体的な手立てを考えさせるとともに、専門委員会などの活動を通して実行していく。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B1 生徒は、 <u>健康の維持増進に気を配っている。</u> 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上	① 保健体育委員が中心となって、手洗い・うがいチェックの方法を工夫して実施するとともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全職員が手洗い等の指導を徹底する。 ② 保健だよりに、時期に応じた健康課題や生徒の活動の様子を掲載するなど、内容の工夫・充実に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B2 生徒は、朝の読書等により、読書の楽しさを味わっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上	① 朝の読書の時間等の確保に努め、落ち着いた雰囲気できちんと取り組むことができるようにする。 ② 図書委員による各学級でのブックトーク（本の紹介）を年間予定に組み込み、実施していく。 ③ 掲示板等や図書館だよりを利用した本の紹介活動の充実を図り、生徒が積極的に読書の楽しさを味わえるように努めていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 90%以上	① 生徒指導部会や学年会議等において、特別な支援が必要な生徒の実態把握・情報共有に努める。また、特別支援教育コーディネーターを中心に関係教職員や関係機関等と連携を図り、適切な支援を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 95%以上	① 学校生活のあらゆる場面でいじめが許されない行為であることを指導する。いじめに関する道徳の授業を学年または学校で一斉に実施する。 ② 学校でのいじめに関する取組をHPに掲載する。その取組を、メール配信システムを利用し、家庭に周知することで、保護者へも啓発する。	【達成状況】 【次年度の方針】

A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上	① 学級の係や生徒会活動を通して、生徒たちに任せる場面を設定したり、自己決定の場を設定したりすることで、その活躍を認め、励ます指導を行い、自己有用感・自尊感情を育む。	【達成状況】 【次年度の方針】
A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 A13と同じ	① 外国人生徒が在籍したときは、日本語での会話や読み書きに困らないよう、日本語指導及び学校生活適応について、状況に応じて関係機関等と連携を図りながらチームで適切な支援を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上	① 「褒めて伸ばす指導」を推進することで、生徒一人一人が自己肯定感を持ち、学校生活に満足感を得られるように支援する。 ② 生徒が主体的に活動できるように授業や学校行事、生徒会活動等の生徒が活躍できる機会を意図的に設定する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上	① 「自分の考えを書いてまとめる等、思考力・判断力・表現力の育成」に重点を置き、さらに読解力を身につける授業改善に積極的に取り組む。また一人一授業を継続し、お互いのアイデアを参考により良い授業を目指していく。 ② 単元末テストや小テストを計画的に実施するとともに、生徒がワークブック等に意欲的に取り組める方策を検討し、基礎・基本の定着を図る。 ③ 「学力を付けることの必要性」に対する生徒の意識の差が大きいことなどから、教科等で生徒の興味・関心が高い学習から社会につながっていることに気づかせ、学ぶ意義を理解させるよう努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 90%以上	① 学校の組織力を強化するため、校務分掌や委員会所属等に配慮し、教育活動の充実を図る。 ② 朝の打合せ、日報、資料の回覧、職員会議等での情報交換・共有に努めるとともに、担当教員を中心として、コミュニケーションを図り、計画的に情報交換の機会を設ける。	【達成状況】 【次年度の方針】

A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	① ミラタイムによる出退勤時刻の入力を徹底し、勤務時間を意識した働き方を実践する。 ② 市部活動方針に基づき、休養日等を適切に設定し、運用を徹底する。 ③ 各種団体からの研修会参加依頼やコンクール等への出品依頼等を精選する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 70%以上 (コロナ終息後は従来の90%に戻す)	① 小中一貫教育主任、部長、分科会長を中心として、小中の教職員間のよりよい連携・協力体制を築く。 ② 小中が連携した取り組みに加え、小中の教職員の連携についても各種たよりや保護者会等で情報発信に努めるとともに、朝の会、帰りの会等で生徒に情報提供をする。また、児童生徒の作品交流等、状況に応じた対応を検討し、実施する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 保護者の肯定的回答 85%以上	① 地域の特色である大谷石文化について、大谷石加工体験学習を始めとする郷土学習や宇都宮学などをとおして深く学ばせる。 ② ふるさと学習で地域の方々から地域の特色を体験的に学習する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 A22と同じ	① 外部講師を招いての喫煙・飲酒・薬物乱用等の防止教室や、保健・安全・福祉等の講座を検討・実施する。 ② 地域連携教員と地域コーディネーターを中心に、魅力ある学校づくり地域協議会と連携し、外部人材の協力を得た活動の検討と人材の発掘に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 90%以上	① 毎月の安全点検を確実に実施し、対処が必要な部分は適切に処理する。 ② 災害・事故等緊急事態に適切に対応できるようにするため、職員間での連携・共通理解を徹底していく。	【達成状況】 【次年度の方針】
A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。 【数値指標】 A10と同じ	① 全生徒に配付されたタブレット型パソコンについて、全教職員が情報交換を図りながら、有効活用に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】

本校の特色・課題等	B3 地域を愛する心や地域に貢献しようとする態度が身についている。	① 城山あったか活動やふるさと学習等の体験を通して、地域社会の一員として自分にできることを考えようとする態度を育てる。	【達成状況】 【次年度の方針】
	【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上	② 地域の行事やボランティア活動等について生徒に情報提供し、積極的な参加を促していく。	

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。